

CIF JAPAN



NEWSLETTER No.35

<http://cif-japan.papnet.jp/>
cifjapan08@gmail.com

Council of International Fellowship Japan

発行人 NPO 法人 CIF ジャパン 理事長 坂本正路

編集人 同 坂岡隆司 発行日 2016年7月1日

事務局 〒607-8216

京都市山科区勸修寺東出町75からしだね館

TEL 075-574-2800 Fax 075-574-0025

通常総会、理事会が開催 されました。

2016年5月28日(土)、横浜市の神奈川県民センターにて、NPO 法人 CIF ジャパン通常総会が開催されました。総会に先立って、理事会も開催され、報告・議案については、おおむね議案書の通り承認されました。以下、概要をお知らせします。

(役員役職は、総会後の臨時理事会で互選の結果) 総会出席者8名、委任状又は書面表決者19名。無回答15名。

- ①2015年度事業の中で、日本で初めての IPEP を成功裡に終わることが出来たことは特筆される。
- ②会計規模は IPEP の影響もあり従来の3倍程度になった。寄付も従来より増えた。
- ③第2回の IPEP については、2017年秋京都を拠点とした全国を開催地として行うこととなった。
- ④任期満了に伴い以下の通り役員改選が行われた。

なお、長年理事長として大役を果たされた竹内和利氏、並びに理事山崎喜久雄氏におかれては、今期をもって退任された。



<新役員>

理事長	坂本正路
副理事長	梶村慎吾
同	浅野純江
同	坂岡隆司
理事	加納光子
同	三宅浩
同	甘蔗寂泉 (かんしゃじゃくせん)
監事	冷水豊
同	上利久芳

退任のご挨拶

前理事長 竹内 和利

(1994 Indianapolis)

私こと、去る5月28日、横浜で開催された本年度の理事会で、役員各位のご了承を得て、6月30日の任期満了を以て、理事及び理事長を退任させていただくこととなりました。

振り返りますと、平成19年(2007年)大阪で開催された総会において予期せず、前田大作前会長の後を受けて会長にご選出いただき、以後思いのほか長きにわたってその任に当たらせていただきました。この間、役員各位はじめ、会員の皆様のご支援とご協力をいただき、おかげ様で CIF ジャパンの事業を及ばずながら前に進めることができました。退任にあたり役員、会員の皆様にこころより深く感謝を申し上げます。

思い起こしますと、最初の課題は、前田前会長様や事務局長の小池嘉男様のご尽力された NPO 法人化でした。当時ようやく NPO への社会的気運が高まってまいり、アンケートを実施して会員各位のご意見ご賛同を得ながら、平成23年(2011年)京都府から特定非営利活動法人として認証を得ることができました。

NPO 法人として立ち上げるにともない、定款の大幅な修正を余儀なくされましたが、あらためて CIF ジャパンの使命、事業内容を明確にする必要がありました。そこで使命についてはさておき、事業内容として、1) 国際研修参加者支援、2) 国内での国際交流促進、3) 外国人研修者受け入れ、4) CIF 内での国際交流促進、以上4つの事業を挙げました。

今、NPO として発足以来のこの5年間を省みて、まだまだ事業内容が充実の域には達していないと感じています。けれども役員各位、会員の皆様のご支援とご熱意によって、幾ばくかの実現、前進を見たことは申すまでもありません。とくに昨年度に、はじめて実現できた外国人研修生受け入れ事業は、多くの方々のご支援を得て第一歩を踏み出すことができました。諸外国の CIF 支部では、この国際交換研修事業をすでに永年にわたり根気強く実施されてきたのですが、遅ればせの参加で CIF ジャパンの存在を各国に認めて頂いたことは喜ばしいことであったと思います。

このたび新しく選任された坂本正路理事長様はじめ役員方にはこれからの事業運営を担っていただきますが、CIF 各支部との連携のもとに、CIF ジャパンの一層の発展に向けてご尽力くださるようお願い申し上げます、会員各位のなお一層のご支援、ご協力をご期待する次第です。

なお私事に触れますが、このたびの私の退任は健康上の理由によるもので、健康が許せば各位のご理解のもとに引き続き努めさせて頂きたかったところです。残念ながらその思いは叶いそうになく、退かせいただくことと致しました。

終わりにあたり、CIF ジャパンの益々の発展と、皆さまのご健勝、ご多幸をお祈り申し上げます。みなさん、有り難うございました。

新任のご挨拶

C I F の発展を願って

新理事長 坂本正路

(1971 コロンバス)

このたび、竹内理事長の後任に選任されました坂本です。私はC I Pのプログラムに参加したのが割合早かったというだけで、前理事長のように英語が堪能でもなく、企画力も優れているものではありませんが理事の皆さんから強く要請されたため、お引き受けいたしました。

現在のC I Fの課題は会員の高齢化と、一部の会員のみによる会の運営です。会の活性化のためには会員皆さんの積極的な参加が必要です。特に来年はI P E P (国際研修)の第2回を実施の予定ですから運営、資金の面でのご協力をお願いいたします。

微力なものです。皆さんのお支えによって魅力あるC I Fとして運営していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

竹内理事長お疲れ様でした！

坂岡隆司

竹内様

役員会、総会とお疲れ様でした。準備も含め多大なご労を頂きましたこと、御礼申し上げます。

さらに今回は、会議のあと横浜から東京へ移動して、月曜日には愛恵福祉支援財団様へ坂本さんと共に挨拶に出向いてくださり、今後のことを考えて、最後まで念入りにいろいろとやってく下さいましたこと、心より御礼申し上げます。

前田前会長（まだNPOになっていませんでしたので「会長」）から引き継がれたあと、もう何年になりましょうか？大阪の上利さんのところの施設「聖家族の家」で総会があった年からです。相当長きにわたってCIF ジャパンをけん引して下さいました。当会をNPO化され、ホームページを立ち上げ、本部や各国との交信も頻繁にされ、BD会議等にも積極的に出て行かれ、来日中のCIF関係のゲストを迎え、研修生を送り出し、福祉新聞、シルバー新報等メディア対策、各種福祉士協会、福祉団体等へのアプローチにも尽力、講演会開催も定例化され、英語力アップが課題と見るや知人の講師を呼んで講座を開催し、そして、昨年は第1回PEPinJAPANを成功に導かれました。そのほか、こまごましたことを挙げればキリがありませんが、とにかくありがとうございます。こうなりますと、竹内さん退任されたあとが心配ですが、なんとか皆で、竹内さんの引いてくださった道を辿って行きたいものだと思います。とにかく、お疲れさまでした。なお、役は退かれても、引き続き可能な限りご指導お力添えいただきたく存じます。くれぐれもお体お大事になさってください。 (2016/06/02

メールより)

◆前田大作前会長の近況◆

冷水豊

前田大作前会長に久しぶりにメールを差し上げたところ、奥様のケイ様から返事があり、次のような近況をお知らせ下さいました。

——仙台の有料老人ホームに入居しており、主人は87歳になります。心臓の働きが人の4割しかない状態だと医師に言わ

れ、慢性心不全との診断名がついています。しかし、食事はふつうにいただいて、食欲も旺盛で、基本的には元気です。仙台暮らしも7年目になりますが、ホームのベランダから180度目に入る緑の水田、丘、森林、大空に心を癒されています。ホームの職員もみんな親切です。ホームで主催してくれるバス旅行に二人で一緒によく参加し、福島、山形あたりの名所やサクラランボ刈りなどに行っています。——

このように、心臓のご病気をかかえながらも、ご夫婦のお元気に生活しておられます。

昨日（6月5日）には、私のケイタイにお電話をいただき、久しぶりでお元気な声を聴くこともできました。ということで、皆様にはご休んでくださるようお知らせいたします。

=コラム=

2016年6月24日～25日、関西学院大学で開催された日本キリスト教社会福祉学会に、何名かのC I F ジャパンのメンバーも出席しておりました。

せっかくなので、休憩時間にロビーで顔合わせをして、総会のこと、来年のI P E Pのことなど、情報交換と打ち合わせをしました。

出席者：坂本正路、山本誠、岸川洋治、江口敏一、秋山智久、坂岡隆司、延原正海 以上7名



第2回 IPEP のため、 今から資金の準備を・・・

第1回のIPEP(国際交換研修)では、総事業費約60万円でした。そのうち38万円が助成金、残り22万円が自己資金でした。

次回も同額か、それ以上の費用が必要と見込まれます。また、費用の余裕があれば、一層プログラムの充実が図れます。このため今から資金の準備について会員各位のご協力を仰ごうとの決議が総会でなされました。趣旨ご理解のうえ、是非ご協力ください。

○送金にあたっては、会費の納入方法と同じです。

<< 2016年度会費納入ご協力のお願い >>

新年度の会費の納入をお願いいたします。また、昨年度の会費が未納の会員各位には併せて納入をお願いいたします。(年会費 3000円)

郵便振替口座 番号 00270-4-54121

加入者名 CIF ジャパン

銀行口座 三井住友銀行 八王子支店

(店番号 843) (普)7815136

口座名義 CIF ジャパン出納責任者 梶村慎吾

《編集後記》

何とか総会が終わりました。実は、会員総数42名のうち、3日前の25日時点で返信があったのはたった18名。このままでは総会不成立！危機一髪のところでした。会員各位の積極的参加が求められます。新体制になりました。今後ともなにとぞよろしくお願い申し上げます。投稿も募集しています。(坂岡)